

6. 貴院が急性期治療を終えた患者（特に高齢者）を転院させる際に、地域で最も不足感が大きいと感じる病床種別は何ですか。（複数回答可）
- 回復期リハビリテーション病棟
 - 地域包括ケア病棟
 - 療養病床
 - 介護医療院
 - （その他、具体的に： _____）
 - 転院が困難と感じる主な理由を具体的にご記述ください。
（ _____ ）

3：療養病床のニーズ認識

1. 貴医療機関のある区域において、医療ニーズが高い慢性期患者（例：経管栄養、喀痰吸引、褥瘡処置など継続的な医療管理が必要な患者）を受け入れる病床の現状について、どのようにお考えですか？
- 十分に足りている
 - やや足りている
 - 不足している
 - かなり不足している
 - わからない
2. 「不足している」「かなり不足している」と回答された場合、その理由と、どのような病床（例：療養病床、介護医療院）が必要だとお考えですか？
- （ _____ ）

4：身寄りのない高齢患者や独居の高齢者への対応と課題

1. 貴院では、治療を終えた身寄りのない高齢患者や独居の高齢者に対し、現在どのように対応されていますか？（複数回答可）
- 医療ソーシャルワーカーが中心となって転院・入所先を調整
 - 一時的に院内の地域包括ケア病棟や療養病床で受け入れている
 - 長期入院（社会的入院）となっている
 - その他（具体的に： _____）
2. 治療後の身寄りのない高齢患者や独居の高齢者を診る上で、最も大きな課題は何だとお考えですか？（複数回答可）
- 受け入れ施設の不足（特に医療ニーズに対応できる施設）
 - 関係機関との連携不足・調整の難しさ
 - 患者本人の意思決定能力の問題
 - 退院後の生活支援（住居、食事、見守りなど）の不足
 - その他（具体的に： _____）
3. 治療後の身寄りのない高齢患者や独居の高齢者を、地域としてどこで診るのが最も適切だとお考えですか？（複数回答可）
- 介護医療院
 - 療養病床
 - 介護老人保健施設
 - 特別養護老人ホーム
 - ショートステイ

- その他介護施設
 - 在宅医療・介護サービスの強化による自宅療養
 - その他（具体的に： _____）
4. 上記で回答した場所へスムーズに移行するために、地域としてどのような取り組みが必要だとお考えですか？（自由記述）
（ _____ ）

5：地域医療構想調整会議における協議について

1. これまでのアンケート調査を踏まえ、貴院から地域医療構想調整会議へのご提言やご要望があれば、ご自由にご記述ください。
（ _____ ）

ご協力ありがとうございました。

【お問い合わせ・回答先】
秋田県健康福祉部医務薬事課
調整・医療計画チーム 斎藤
TEL:018-860-1401
FAX:018-860-3883
E-mail:Saito-Ryodai@pref.akita.lg.jp